

平成30年1月31日

国土交通省中部地方整備局

名古屋国道事務所

報道機関のみなさま 橋の補修工事現場をみてみませんか！

～国道23号寛政高架橋にて現場見学会を開催～

概要

寛政高架橋のある国道23号は、通称「名^{めい}四国道」と呼ばれ、昭和38年から昭和47年にかけて順次供用されており、高度経済成長期から中部地方の経済活動を支える大動脈として、貢献してきました。

現在も1日約9万台の車両が行き交い、内35%が大型車となっています。

近年、老朽化による橋梁の損傷や劣化の進行が目立つようになったことから、それらの補修工事と大規模地震に備えて、緊急輸送路として機能が果たせるよう耐震補強工事を進めております。

つきましては、このたび、橋の状況や工事内容をみて頂く、報道機関を対象とした現場見学会を開催することとしましたので、お知らせします。



日時 : 平成30年2月6日(火) 14:00～15:00 (雨天決行)
場所 : 国道23号寛政高架橋(名古屋市港区築盛町～砂美町)
(別紙1参照)

見学会内容 : 普段見られない床(版)下が間近に目視できます。
打音点検等が体験できます。その他パネル展示 等

※本見学会に参加を希望される場合は、別紙2の参加申込書に必要事項を記入しFAXで申し込み下さい。

(締切:平成30年2月5日(月))

添付資料 : 国道23号豊明IC～三重県境間について、工事概要、別紙1、別紙2

配布先 : 中部地方整備局記者クラブ



問い合わせ先

国土交通省 中部地方整備局 名古屋国道事務所

副所長	みずの 水野 良浩	TEL:052-853-7320	FAX:052-853-7336
管理第二課長	すずき 鈴木 康芳	TEL:052-853-7320	FAX:052-853-7336
建設監督官	ながや 永谷 謙次	TEL:052-651-8156	

冬の道路走行時は、タイヤチェーンや冬タイヤ装備など、車の冬装備を万全にして、安全な走行を

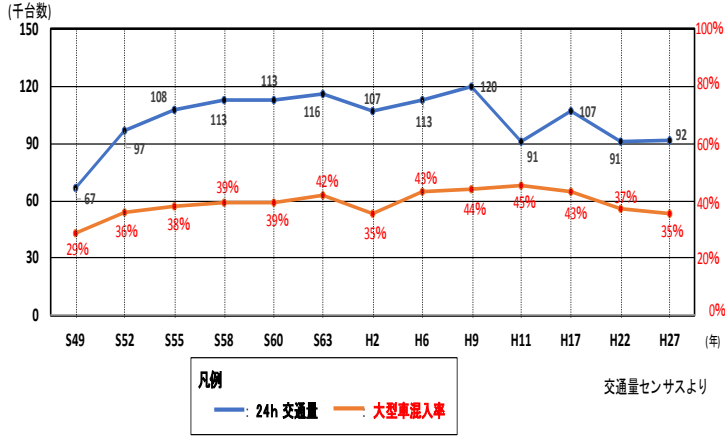
道路の異状を発見したら・・・道路緊急ダイヤル **#9910** (通話料無料・24時間受付)

国道23号豊明IC～三重県境間(通称:名四国道)について

- 国道23号豊明IC～三重県境間(図中太赤線)は、昭和38年～47年にかけて順次開通。中部地方の経済活動を支える大動脈として貢献。
- 自動車交通量の増加、車両の大型化によって、橋梁に損傷や劣化が進行。
- 平成7年～平成13年にかけて有松IC～三重県境間の橋梁を対象に集中的にリフレッシュ工事を実施。

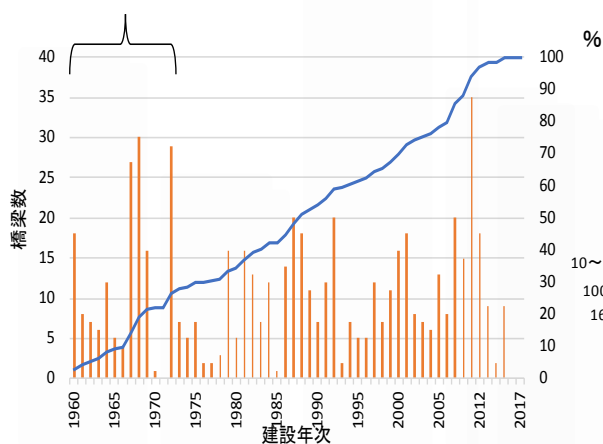
24H交通量と大型車混入率の推移

(測定場所: 名古屋港区港本町(港区東栄地町))

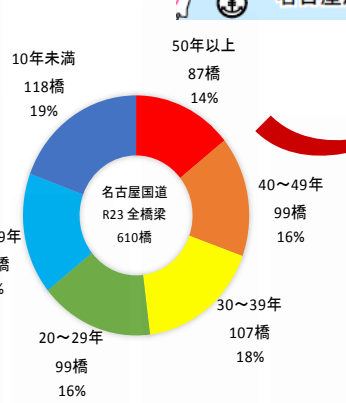


高度経済成長期(1955～1973)

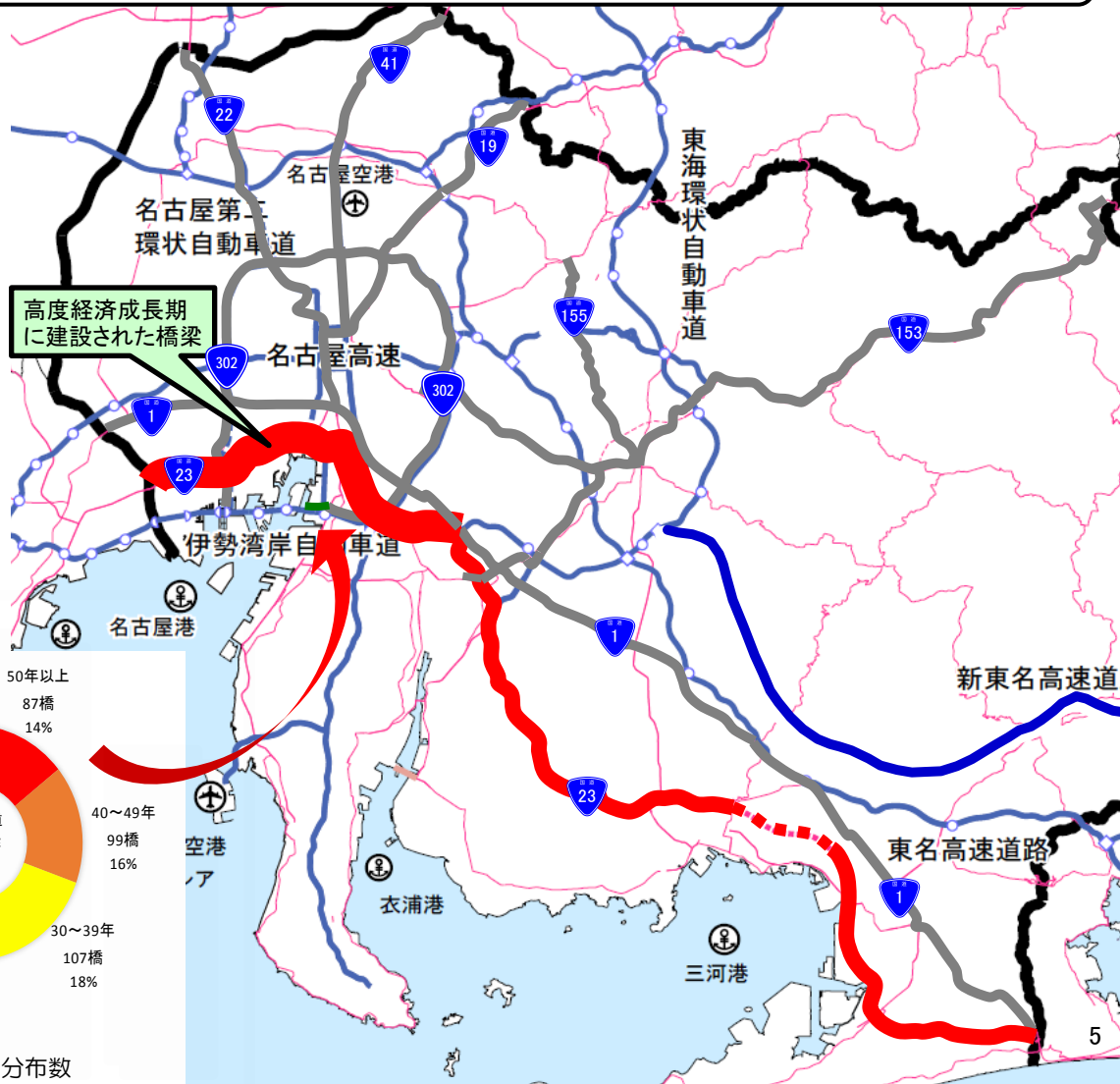
170橋 28%



建設年次別の橋梁数【23号】

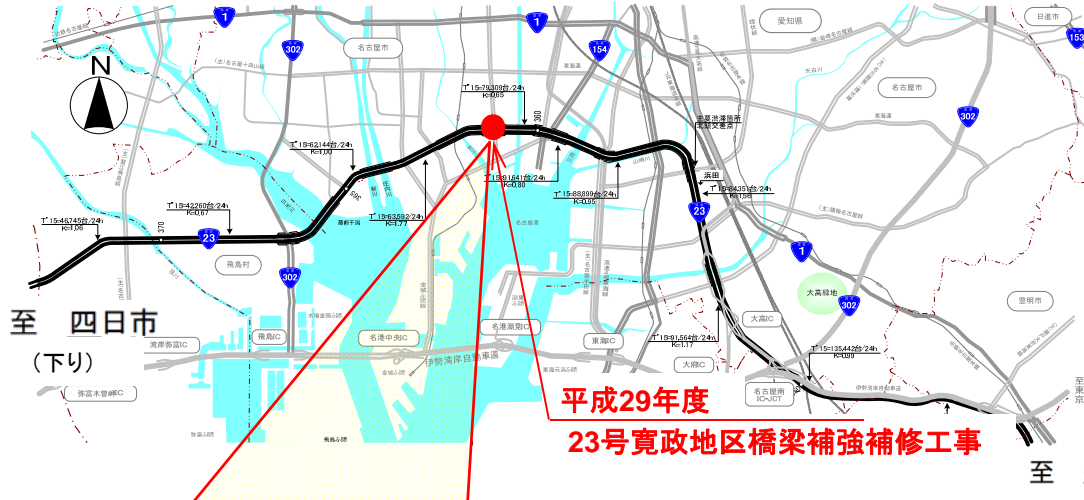


供用年別の分布

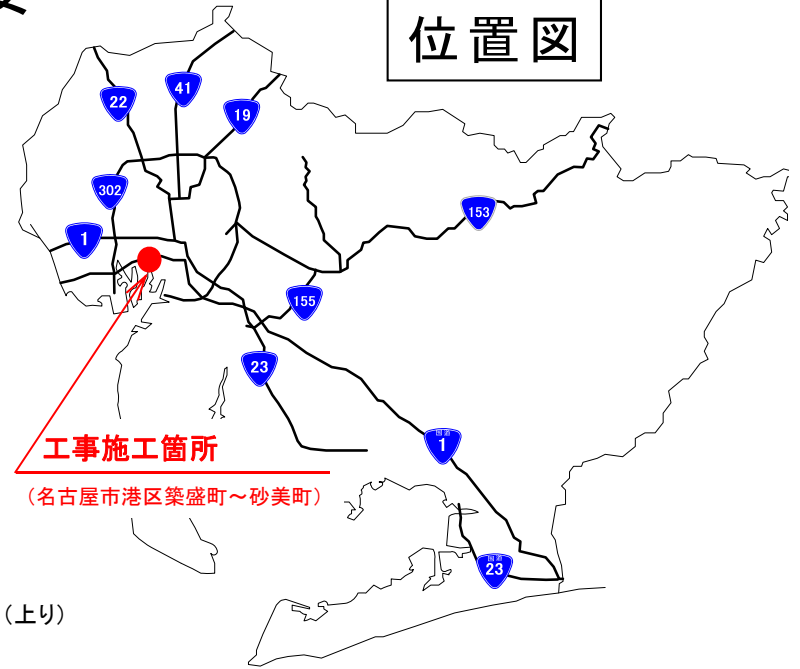


工事概要

工事位置図



位置図



工事内容

○橋梁補強補修工事

・橋梁補強工 1式

変位制限装置 16基

(地震による橋の移動を制限する装置)

・橋梁補修工 1式

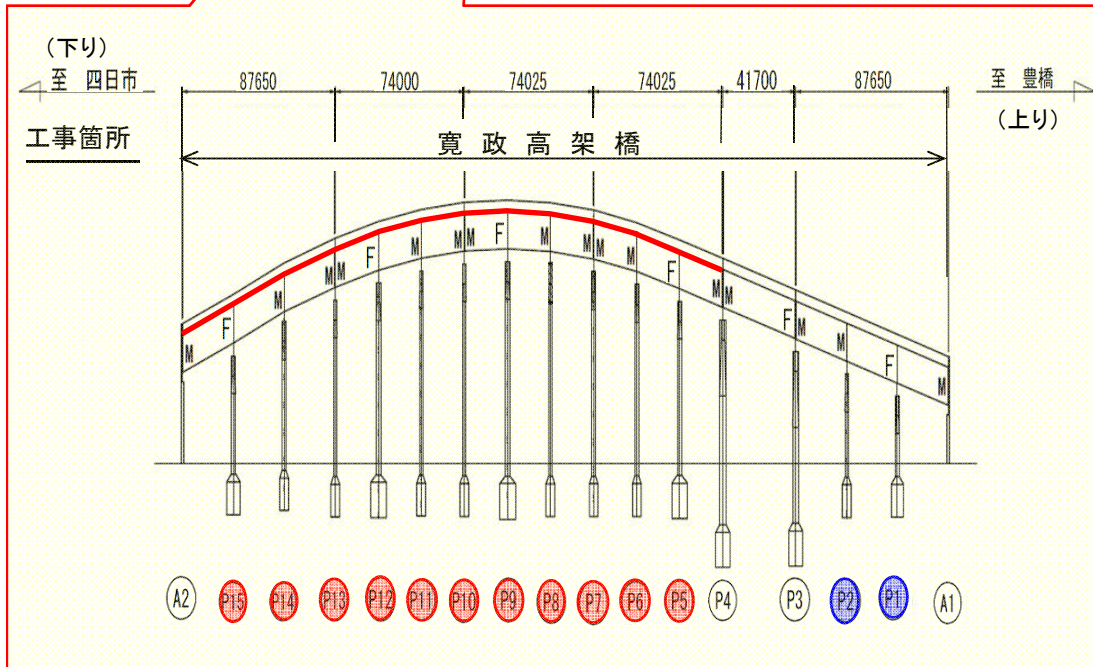
ひび割れ注入工(橋脚、床版) 5,100m

高強度繊維シート張工(床版) 633m²

高強度繊維シート張工(橋脚) 111m²

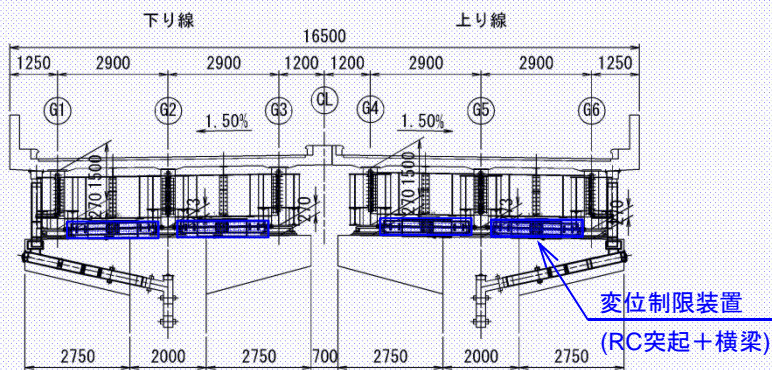
鋼板接着工(橋脚) 1式

・仮設工 1式 (足場、交通誘導員等)

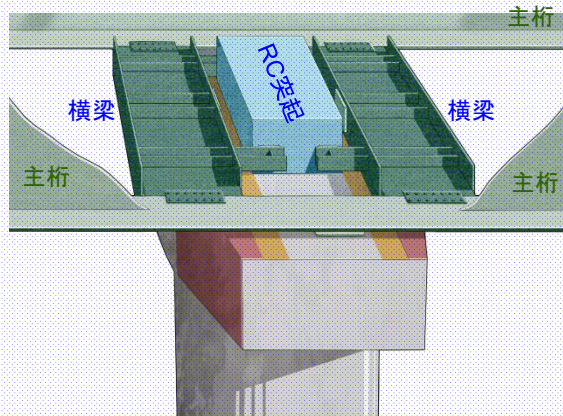


工事断面図

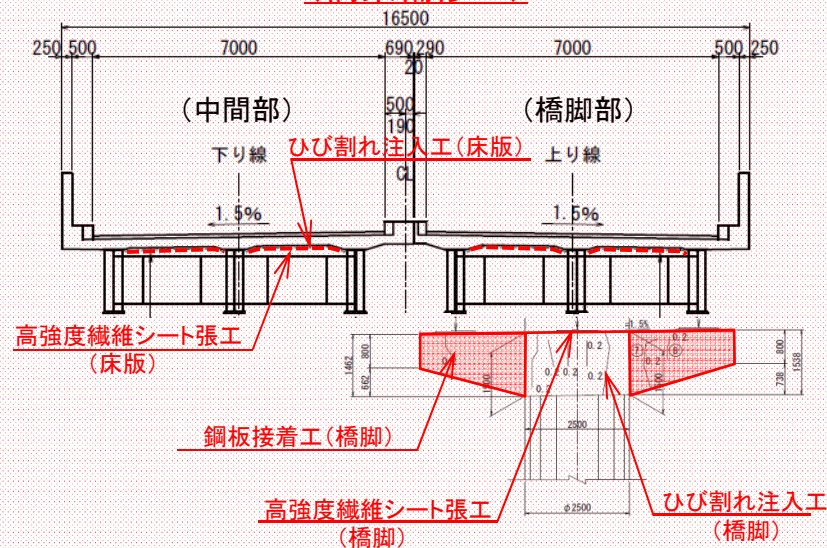
(橋梁補強工)



変位制限装置 (構造イメージ)



(橋梁補修工)



ひび割れの状況 (床版)



ひび割れの状況 (橋脚)



鋼板接着工 (橋脚)



高強度繊維シート張工 (橋脚)



高強度繊維シート張工 (床版)



ひび割れ注入工



案内図



詳細案内図



※ アクセス

■ 車の場合

- ・豊橋方面より 『寛政IC』でおりてそのまま南側側道を直進。
「名四町」交差点を越え、約150m先にある高架下の入り口へ右折進入。
- ・四日市方面より 『寛政IC』でおりてそのまま北側側道を直進。
「名四町」交差点を右折(Uターン)し南側側道へ。約150m先にある高架下の入り口へ右折進入。

■ 電車の場合

- ・あおなみ線『荒子川公園』駅より、約1km 徒歩約15分
「名四砂美町」交差点を横断し、南側側道(歩道)を左折。約150m東進し、高架下の入り口より進入。



名古屋国道事務所 管理第二課長 あて
(FAX 052-853-7336)

「報道機関を対象とした現場見学会」参加申込書

会社名	
参加人数	人
交通手段 ※	車 (台) ・ 徒歩

※ 車か徒歩かどちらかに○をつけて下さい。なお、車の場合は台数の記入もお願いします。

(担当者) 役職:

氏名:

電話:

メール:

FAX:

※申し込みはFAXにてお願いします。

当日は本申込書の写しをお持ちいただき提示願います。

ご記入いただいた個人情報は、参加者管理の目的以外では使用いたしません。

問い合わせ先

国土交通省 中部地方整備局 名古屋国道事務所

管理第二課長 鈴木 康芳

電話 052-853-7320(内線441)